

2018年12月6日

報道関係各位

東京建物株式会社

持続可能な都市・社会づくりのための
オープンイノベーション拠点
「City Lab TOKYO」オープン！

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 野村 均、以下「東京建物」）は、東京スクエアガーデン（所在：東京都中央区京橋）6階にて、環境を主軸とした持続可能な都市・社会づくりを行うためのオープンイノベーション拠点「City Lab TOKYO」（以下「シティラボ東京」）を本日オープンしましたのでお知らせします。



「シティラボ東京」は、持続可能な都市・社会づくりを目的として、コワーキングスペースとカンファレンススペースからなる場を提供の上、SDGs[※]やESG投資[※]、テクノロジーなどをテーマとした各種イベントの開催の他、サステナビリティを軸としたスタートアップコミュニティの立上げや、社会起業家育成プログラムの提供などを実施することを予定しており、セクターを越えたコラボレーションを促進するオープンイノベーションプラットフォームの役割を担います。

※SDGs：持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された17のゴール・169のターゲットから構成された2016年から2030年までの国際目標。

※ESG投資：ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉で、これまで使われてきたキャッシュフローや利益率などの定量的な財務情報に加え、非財務情報であるESG要素を考慮する投資。

1. 「シティラボ東京」の狙い —都市課題の解決—

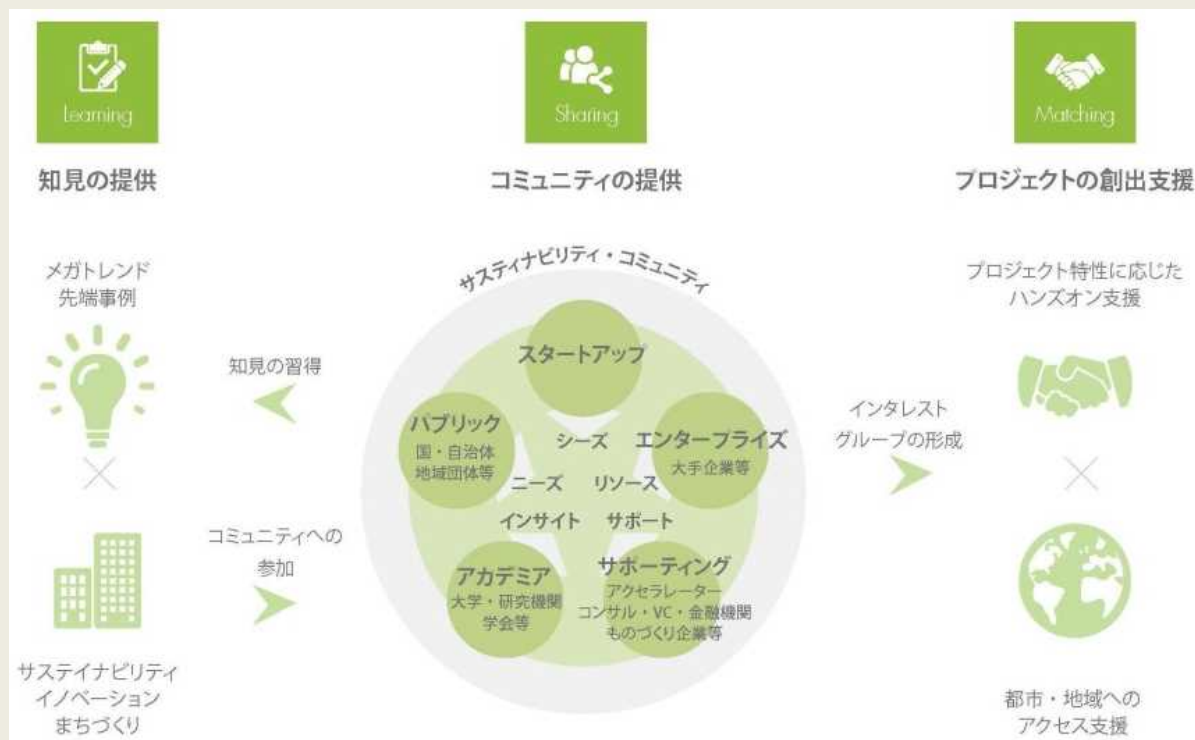
現在、世界では急速に都市化が進んでいます。国際連合人間居住計画（UN-HABITAT）によれば、2030年には世界人口の60%は都市部に住み、その後も当該傾向は顕著になると予測されており、地球規模で広がる環境問題をはじめとする社会課題に対処するためには、都市での課題解決が、効率性の観点から非常に重要になると考えます。「シティラボ東京」では、この都市における社会課題の発見と解決のサイクルをひとつのビジネスマーケットと捉え、イノベティブなアイデアや技術を都市に実装し、社会課題の解決をはかること自体が新たなビジネスの創出につながるという考えのもと様々な活動を実施いたします。

2. 「シティラボ東京」が提供するプログラムの詳細

[ラーニング・プログラム] SDGs やESG 投資などのサステナビリティに関連する社会的動向から、新たなテクノロジーまで幅広い最先端の知見・情報を提供し、参加者に新たな気付きを促します。

[シェアリング・プログラム] 新たなシーズを提供するスタートアップや、事業を牽引する大手企業、都市課題を抱える公共主体、インサイトを与える学界、事業を多面的にサポートする金融機関やアクセラレーターなど、セクターごとのコミュニティ形成と相互の多様なパートナーシップにより、集合知の形成を促します。

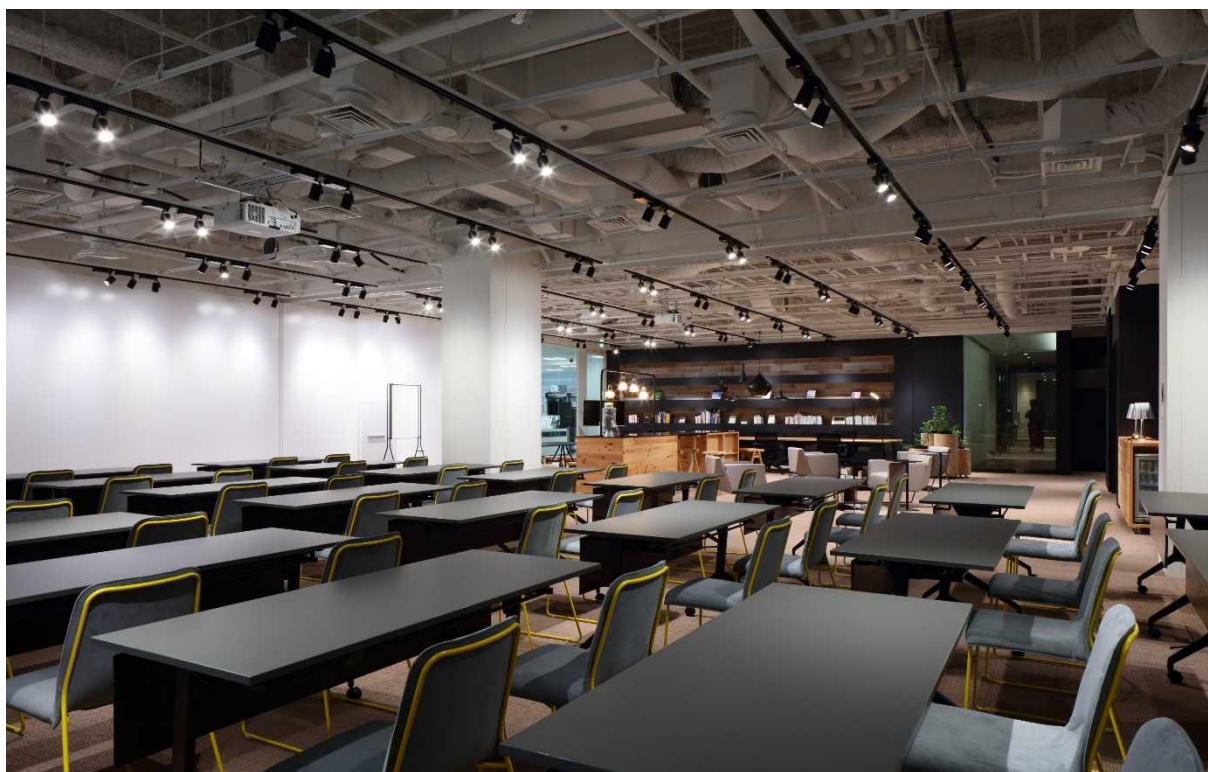
[マッチング・プログラム] セクター間の交流から個別の関心領域ごとのグループ形成へと導き、プロジェクト化を促進。プロジェクト特性に応じてハンズオン支援する事業者とのマッチングを行い、さらには公共主体との連携による社会実装支援を行います。



「シティラボ東京」が提供するプログラム全体概念図

3. 「シティラボ東京」の施設概要


個人ワークからワークショップ、セミナー、ネットワーキングパーティーなど多様な活動に対応可能な最大 120 名収容可能な約 300 m²のスペースです。



(施設全体プラン)

4. 「シティラボ東京」の運営体制

都市づくり領域における専門的な知見を提供し協業を進めることを目的として、認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会※を母体とするタスクフォース組織「一般社団法人アーバニスト」と共同で運営してまいります。

「一般社団法人アーバニスト」について 

設立日：2018年6月4日

目的：まちづくりの知見を社会に還元するプラットフォームを形成し、持続可能な都市・地域社会の形成に向けた都市課題の解決を推進すること

事業内容：都市課題の解決を目的とする施設の運営、異分野・異業種交流の促進、普及啓発プログラムの企画及び実施、調整など

設立時社員：小泉秀樹（代表理事・東京大学教授）等

※認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会：都市計画に関わるコンサルタント、学識、自治体関係者など、実践的かつ技術ストックを有するプランナー集団として、1994年に設立。2014年には認定NPO法人化を行うなど、活動の公益性を高めながら現在に至る。

5. 「シティラボ東京」の詳細

■シティラボ東京設置者

東京建物株式会社・第一生命保険株式会社・片倉工業株式会社・清水地所株式会社・日本プライムリアルティ投資法人・ジェイアンドエス保険サービス株式会社

■シティラボ東京企画者

東京建物株式会社

■シティラボ東京運営受託者

一般社団法人アーバニスト

■「シティラボ東京」の名称・ロゴについて



持続可能な都市「Sustainable City」の実現に向けた創造拠点にしたいという思いをこめて「City Lab TOKYO」（シティラボ東京）と名付けました。

「イノベーション」「創造」「発見」を想起させるデザインとして「i」をデザインしています。

■「シティラボ東京」公式サイト URL

<http://citylabtokyo.jp>

■アクセス



東京スクエアガーデン 6階
京橋環境ステーション内

- ・東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結
- ・東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩2分
- ・都営浅草線「宝町駅」A4番出口より徒歩2分
- ・JR「東京駅」八重洲南口より徒歩6分
- ・JR「有楽町駅」京橋口より徒歩6分

(参考資料1) 「シティラボ東京」開設までの経緯

東京建物はこれまで様々なプロジェクトを通じて、積極的に環境に配慮した取り組みを行ってまいりました。大手町タワーでは「大手町の森」という緑化空間を設け、都心における生物多様性を再現、中野セントラルパークでは「緑の中で働くオフィス」というコンセプトを実現しました。また本「シティラボ東京」を開設した東京スクエアガーデンでも、通りに面して立体的な緑地「京橋の丘」を設ける他、先端の技術を取り込むことにより都内トップクラスの低炭素ビルを実現したことに加えて、地域の低炭素化などの環境対策を進める「京橋環境ステーション」の運営を行ってまいりました。



大手町の森
(大手町タワー)



中野四季の森公園
(中野セントラルパーク)



京橋の丘
(東京スクエアガーデン)

「シティラボ東京」は、これまで行ってきた上記のような「環境」対策の視点に、ビジネスを意識した「経済」と、地域へ実装していく「社会」の視点を加え、持続可能な都市・社会の実現に貢献していきたいと考えています。

(参考資料2) 八重洲・日本橋・京橋エリアのイノベーション活性化

東京建物は、その資産の多くを東京駅前の八重洲・日本橋・京橋エリア（以下「当エリア」）に保有しており、今後、これらの再開発・建替え等を順次進めていく予定ですが、国際都市間競争がますます高まる中、建物単体だけではなく、所在するエリアとしての魅力付けが重要と考えています。

その一環として、当エリアにおけるイノベーション・エコシステムの構築を進めるべく、2017年7月には多様な働き方を実現するためのシェアオフィス「+OURS」、2018年4月にはスタートアップの成長支援を行う「xBridge-Tokyo」を開設し、エリア内へのイノベティブな人材の誘致と協業の促進を行っています。



+OURS 八重洲



xBridge-Tokyo

この度開設した「シティラボ東京」もこの一連の取り組みの一環であり、本オープンイノベーション拠点を活用して、大手企業やスタートアップの協業と社会イノベーションを支援し、当エリアに新たな産業集積を形成することを目指しています。